



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2022.7.19

キャリア教育

本校が大切にしている教育の一つとして「キャリア教育」があります。文部科学省は、「キャリア教育」とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。」とっています。(どうしてこんなにわかりにくい日本語なのでしょう) 続けて「自らの力で生き方を選択していく事ができるような必要な能力や態度を身に付ける事。」と言い換えています。(多少わかりやすくなりましたが・・・) 私自身は、「キャリア教育」を「生き方を学んでいく教育」と解釈しています。「キャリア教育」は、教員も進路学習や職場体験学習のように狭くとらえてしまいがちになりますが、もっと広く、いろいろな人の生き方に学び、そこから自分自身の生き方や目標を見つける力を身に付ける学習を指していると思います。

感染症への対応の変化で、今学期は様々な学習が可能になりました。先日は、5・6年生の総合的な学習「あさぎり」で、本校の保護者でもある鈴木さんに来ていただいて、主に「わくわく食堂」を始めた経緯や運営への想いをお話いただきました。特認校制度が始まって、新宮以外の人たちに新宮の良さを知ってもらいたい、好きになってもらいたい、同時に地域のお年寄りにも元気になってもらいたいとの思いをお話いただきました。全体を通して、新宮小・中学校の子どもたちをいつくしむ心が大変伝わってきたお話でした。お話を聞きながら、まさにキャリア教育の実践だと感じました。その前には、この春新宮で新しく紙すき職人となって活動を始めた大西さんのお話を聞きました。書道家でもある大西さんが理想の紙をすきたい、また地元産の原料で製品を作りたいと語る姿から児童は大きな刺激を受けていました。今学期は、紙産業イノベーションセンターから内村先生(小学6年生対象)、深堀先生(中学3年生対象)、伊藤先生(中学1年生対象)が来られて、授業をしていただきました。また、愛媛大学社会共創学部から先生3名大学生11名が来校し、プログラミング教室(小学5・6年生、中学生対象)が行われました。(2学期には小学1・2、3・4年生対象のプログラミング教室も計画中です。)他にも、フェンシング体験(全校)、読み聞かせ、三島高校との連携授業(中学2・3年生)などの連携授業、行事がありました。多くの方のご支援、ご協力に大変ありがたい思いでいっぱいです。それらの授業は、単に体験することが目的とは考えていません。その時間を通して、その分野で最先端を走っている人や、その道のプロフェッショナルの方たちの頑張っている姿、あるいは研究にかける思い、将来の目標や夢などを知り、その人の生き方に触れることこそ大事だと考えています。夏休みには3年ぶりに愛媛大学教育学部によるサマースクールも予定されています。大変楽しみにしています。

運動会について

先日、公民館主催の新宮大運動会打合せ会において、今年度の運動会についても半日開催と決定されました。大変残念です。コロナ禍の現状を鑑みての決定です。種目等については、いくつか意見もうかがいましたので、今後検討していきたいと考えております。また、現在のところ、一般の方も公民館での事前申し込みさえすれば、参観可能の方向で進んでいます。地域にある学校として、多くの方に園児児童生徒の元気な姿を見ていただければと願っています。詳細は公民館だより等でお知らせがあるかと思います。

皆様には夏休み中、感染症対策、熱中症対策等、気を付けてお過ごしください。

※ 先日の新宮地域少年健全育成会議で、新宮と川之江を結ぶトンネル内での車の追い越しは禁止であることを周知してほしいとの依頼がありましたので、保護者の方へもお伝えいたします。